

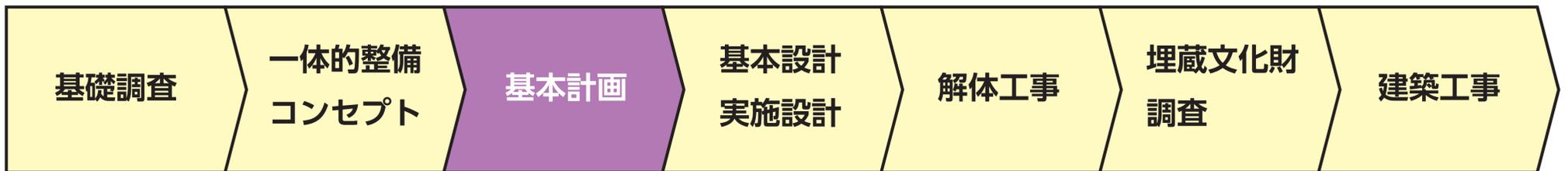
竹早公園・小石川図書館一体的整備基本計画(中間のまとめ)について

現在、検討を進めている竹早公園と小石川図書館との一体的な整備については、魅力ある公園づくりを進めつつ、文化的で豊かな生活を支えるスポーツ活動や学びの拠点を整備することをコンセプトとして掲げ、調和のとれた空間で、多様な人の交流や賑わいの創出を目指していくこととしております。

今回の「竹早公園・小石川図書館一体的整備基本計画(中間のまとめ)」は、コンセプトの基本的な考え方に基づき、各施設の整備方針や導入するサービスや機能等について検討し、今回、皆様に分かりやすくご覧いただけますよう、現時点のイメージなどを可視化したものです。

「中間のまとめ」に記載された内容は確定したものではありません。今後、公園、テニスコート、図書館の利用者や近隣住民の皆様のご意見を伺いながら、基本計画をまとめてまいります。

今後のスケジュール



現在の検討は、この基本計画の部分です



意見募集のお知らせ

パネル展示、計画閲覧場所、区ホームページで「竹早公園・小石川図書館一体的整備基本計画(中間のまとめ)」をご覧いただき、ご意見をお寄せください。

意見募集期限	令和6年6月28日(金)まで
意見提出方法	QRコードからWeb回答 郵送 〒113-0033 文京区本郷4-8-15 真砂中央図書館「中間のまとめ」担当宛 FAX 03-5689-4500 所管課へ持参 真砂中央図書館／みどり公園課／スポーツ振興課
計画閲覧場所	真砂中央図書館／みどり公園課／スポーツ振興課／行政情報センター 区立図書館・図書室／文京スポーツセンター／竹早テニスコート管理事務所／ 大塚地域活動センター



ご意見はこちらから

はじめに

計画策定の経緯

「文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会」報告書では、今後の区立図書館の機能向上に関し、ICT化の推進や閲覧環境の整備等が提言されたほか、小石川図書館については、施設の老朽化とともに、バリアフリー対応等の多くの課題が指摘され、施設の改築に当たっては、隣接する竹早公園との一体的な整備が望ましいとの考え方が示されました。

公園・テニスコート・図書館等、各施設の所管課による多角的な視点から、竹早公園と小石川図書館との一体的整備について検討を進めました。

- ☞ 一体的整備に関する基礎調査等により、竹早公園のバリアフリー対応や、竹早テニスコートのクラブハウスの老朽化等、各施設での課題を把握
- ☞ 都市計画公園である竹早公園（竹早テニスコート含む）に図書館の敷地を組み込み、都市計画変更を前提とした一体的整備により、公園面積の拡充や利用者の利便性向上などの利点を見出す

一体的整備のコンセプト

■テーマ

魅力ある公園づくりを進めつつ、文化的で豊かな生活を支えるスポーツ活動や学びの拠点を整備し、調和のとれた空間で、多様な人の交流や賑わいを創出する。

1 公園の利便性向上

公園の機能や防災性を高め、公園施設を一体化し活動スペースの充実を図るとともに、高低差を利用した敷地の活用を検討する。

2 スポーツ・学びの拠点

特色あるまちづくりを進めるため、テニスコート設備の更新や図書館機能を充実し、各施設利用者が活動しやすい場を整備する。

3 多様な人の交流を生み出す空間の創出

各施設がそれぞれの特性を生かし、多様な人が交流し、賑わいのあるコミュニティの場を創出する。

一体的整備に当たっては、上記のコンセプトの基本的な考え方にに基づき、各施設の整備方針等について、基本計画（中間のまとめ）としてまとめています。

計画の位置づけ

竹早公園と小石川図書館との一体的整備に係る、公園及び公園施設（テニスコート関連施設・小石川図書館）の整備方針となる計画です。

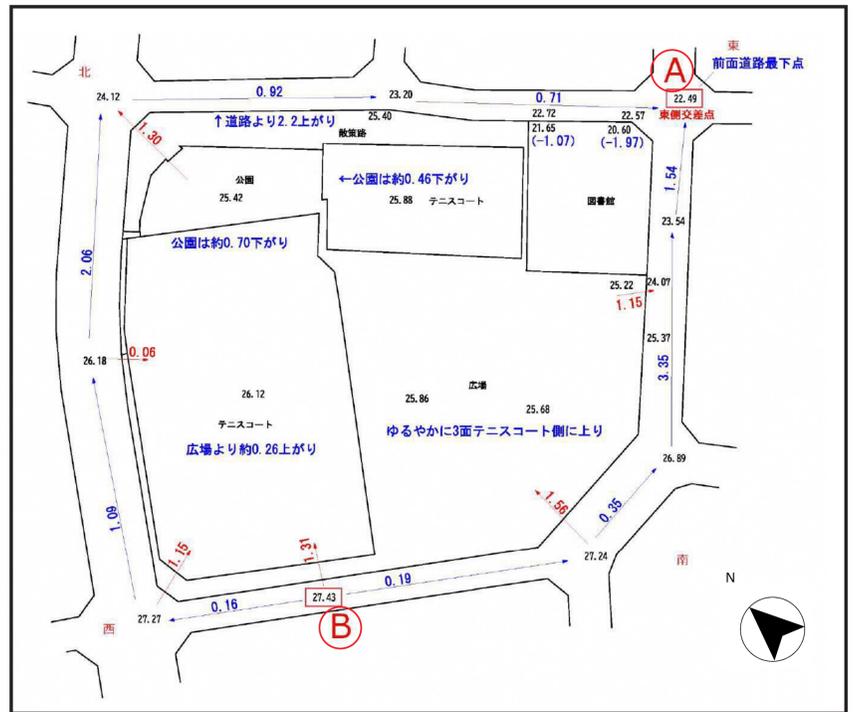
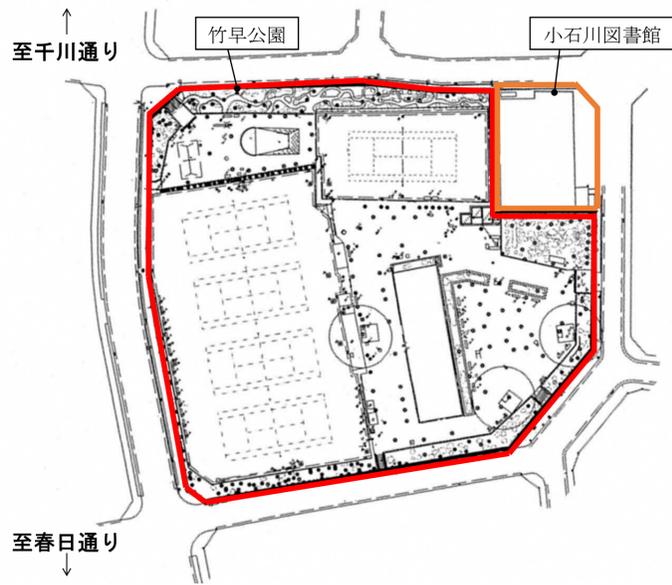
今回まとめた内容は、
竹早公園・小石川図書館一体的
整備基本計画（中間のまとめ）です



敷地の現況

項目	竹早公園	小石川図書館	
所在地	文京区小石川5丁目9番	文京区小石川5丁目9番20号	
敷地面積	一体的整備による敷地全体面積 8,193.26㎡		
	7,524.99㎡ (うちテニスコート3,204㎡)	668.27㎡	
都市計画	用途地域	第一種中高層住居専用地域	
	建ぺい率	60% (ただし、都市公園法の規定により2%+特例10%で12%)	60% (ただし、角地、準防火地域内の準耐火建築物により80%まで可能)
	容積率	300%	
	日影規制	4-2.5時間 測定面4m	
	高度地区	22m第三種高度地区	
	防火指定	準防火地域	
	特別用途地区	第一種文教地区	
都市施設	都市計画公園 (街区公園)	—	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路の幅員：北西12.00m、北東6.08m、南東7.85m、南12.05m (前面道路)、南西6.10m ・坂の傾斜面にあり、公園と図書館には高低差がある。 ・公園敷地は埋蔵文化財包蔵地に該当している。 		

出典：周辺道路の幅員…道路台帳平面図



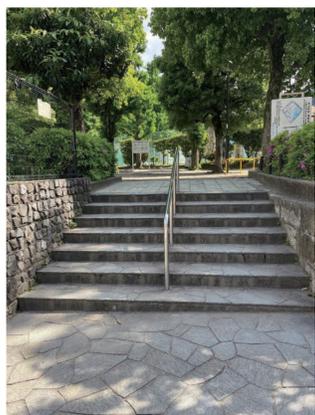
春日通りから千川通りに向かって緩やかに下がる傾斜地に位置していることから、周辺道路と敷地に高低差があります。敷地4辺に接する周辺道路は全て傾斜路であり、最も高い **B 地点** と最も低い東側交差点 (**A 地点**) では 4.94m の高低差があります。



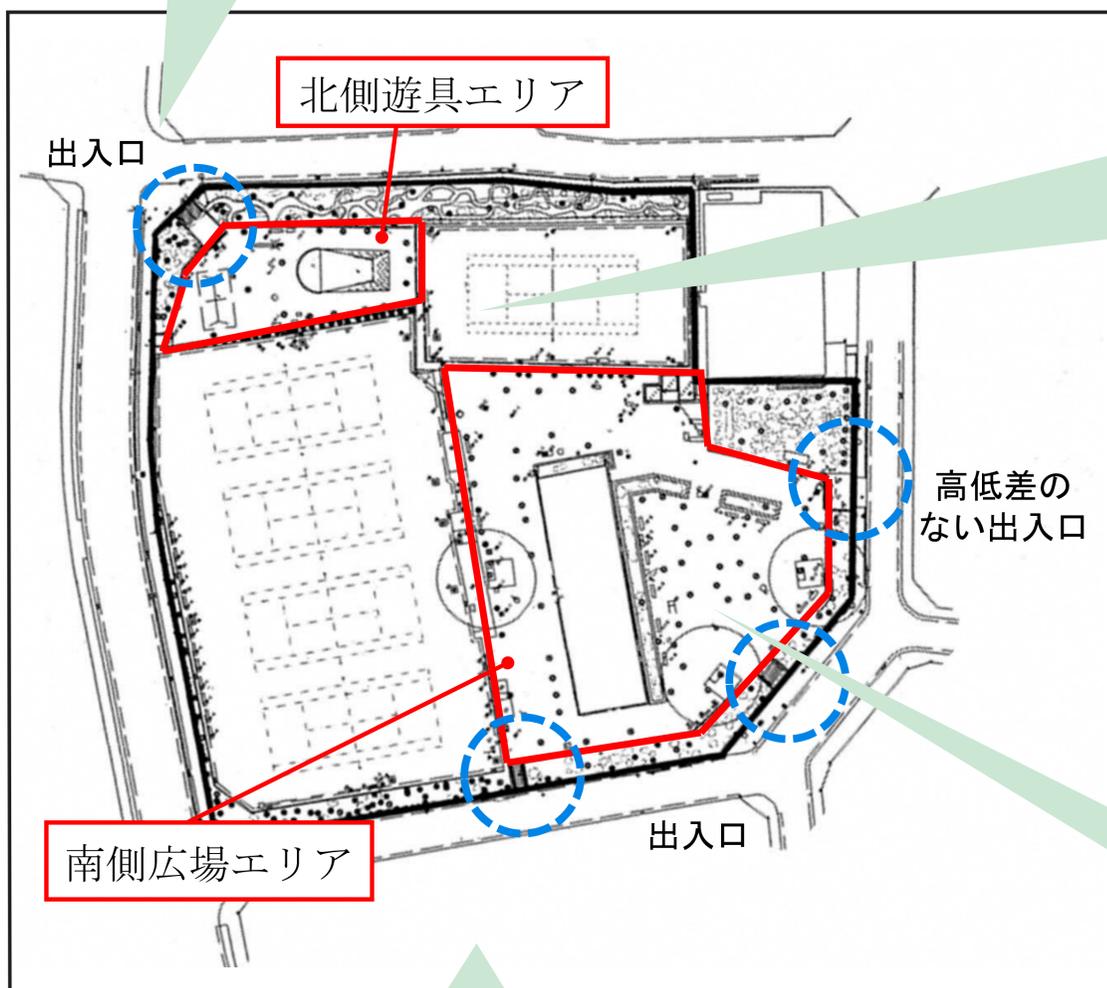
施設の現況 竹早公園

主として街区内に居住する住民の屋外における休息、鑑賞、遊戯、運動、その他のレクリエーション利用に供するとともに、併せて都市環境の整備及び改善、災害時の避難等に資するために設けられる公共空地

建物等の現況	建設年	昭和28(1953)年9月
	敷地面積	7,524.99㎡
	建築面積	20.99㎡ (便所)
	延床面積	20.99㎡
	施設内容	公園便所 (バリアフリートイレ有)、ブランコ、砂場、すべり台、クライミングスライダー、健康遊具、キャッチボール場
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・運動施設として竹早テニスコートを設置 (テニスコート5面、クラブハウス、管理事務所) ・防災倉庫を設置



公園にある出入口4か所のうち、3か所に段差があり、周辺道路と段差がない出入口は1か所のみ。



北側遊具エリアと南側広場エリアは、竹早テニスコートで分断され、間の通路で接続しているが、北側と南側では視線は遮られている。

南側広場エリアは植栽の樹木が多く、キャッチボール場を設置

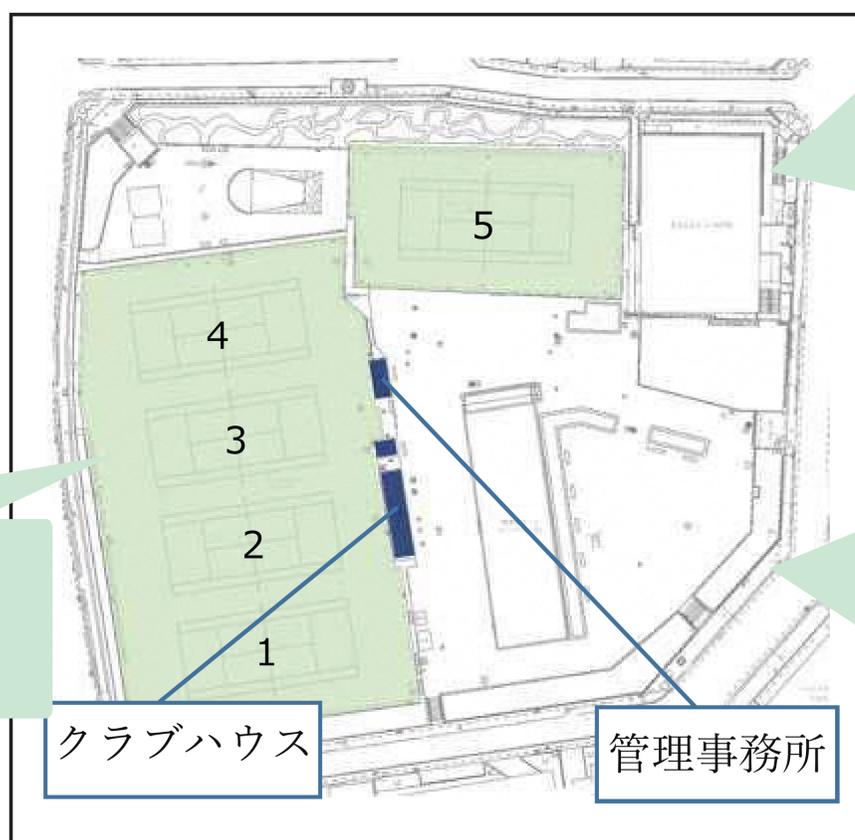
- ・竹早公園は開設から70年以上が経過し、各種公園施設の老朽化が進行
- ・既存樹木についても、高木は全体的に老木化
- ・高木が大木化しており、強風などによる影響を受けやすい状況



施設の現況 竹早テニスコート

スポーツの普及振興を図り、もって区民の健全な心身の育成を寄与することを目的とした有料施設

建物等の現況	建設年	①テニスコート 第1～4コート：昭和29（1954）年、 第5コート：昭和62（1987）年 ②管理事務所：昭和61（1986）年 ※令和3（2021）年度改築 ③クラブハウス：昭和63（1988）年
	敷地面積	テニスコート5面：3,204㎡（公園の42.6%）
	建築面積	②管理事務所：12.60㎡ ③クラブハウス：37.50㎡
	延床面積	②管理事務所：12.60㎡ ③クラブハウス：75.00㎡（地上2階建）
	施設内容	①テニスコート：5面、砂入り人工芝 ②管理事務所：テニスコートの利用受付窓口 ③クラブハウス：トイレ、更衣室、シャワー室
その他	竹早公園内に運動施設として設置	



テニスコートを囲むフェンスを設置

テニスコートは第1～4コートと第5コートに分かれて配置。第1～4コートの間隔は規則等に基づき適正に保たれている。

- ・テニスコートとクラブハウスは近接した配置となっており、利便性に優れている。
- ・クラブハウス等、各種設備の老朽化が進行しており、第4コート側の公園の樹木の根がコートを押し上げ、隆起している箇所もある。



施設の現況 小石川図書館

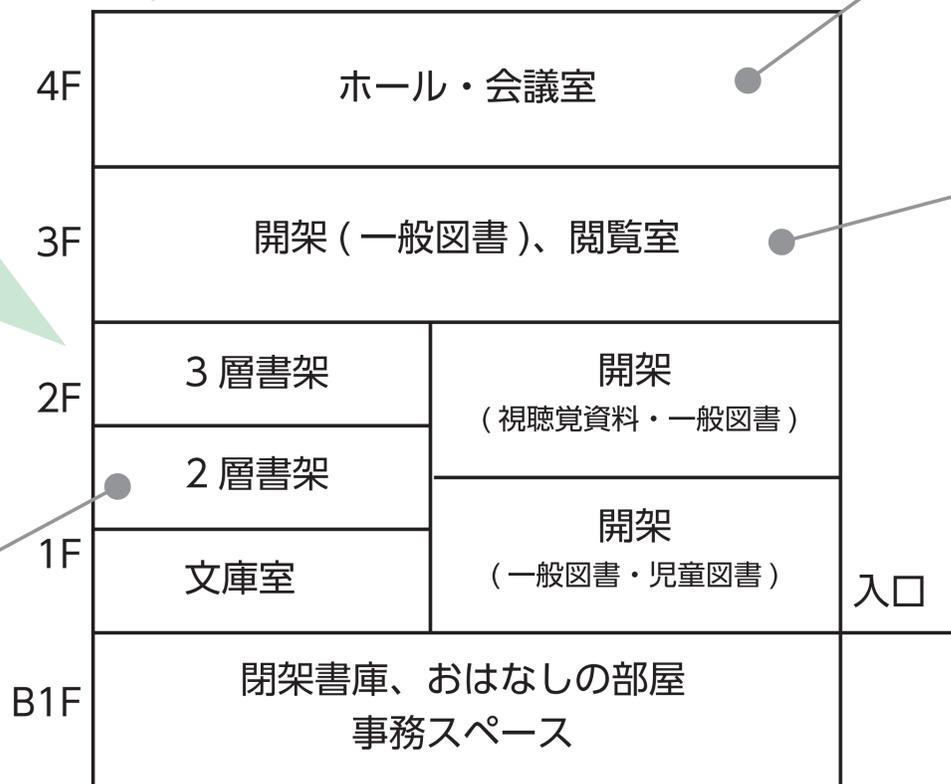
図書館法に基づき、資料の収集・保存・貸出等に供するサービスを提供。

建物等の現況	建設年	昭和40(1965)年12月 ※平成11(1999)年度 耐震補強等工事
	敷地面積	668.27㎡
	建築面積	416.64㎡
	延床面積	1,993.50㎡ (地上4階地下1階)
	施設内容	書架、閲覧室、児童室、レコード室、視聴覚ホール、会議室、書庫、倉庫、事務室、機械室等
	その他	—

- ・区立図書館では各館が分担収集している
- ・小石川図書館の担当分野は、法律、教育、音楽・舞踊、日本文学



開架資料の約4割が積層書架に配置されている。積層書架は書架の間が狭く天井が低く、また利用者が資料を探しづらい



建設時に日影規制がなかったため日影規制を超えている部分があり、現在の建築基準法に適合していない既存不適格建築物

- ・築55年以上が経過し、老朽化が進行
- ・エレベーター、バリアフリートイレ、障害者用駐車場といった設備も未設置であり、現況施設はバリアフリーに対応していない状態



整備に関する関係法令

竹早公園と小石川図書館の一体的整備にあたって、都市公園法、都市計画法、建築基準法及び東京都文教地区建築条例による制限を整理しました。

整備に関する関係法令、手続き等の主な内容

- 都市公園敷地に図書館敷地を組み込む。
- 都市公園敷地と都市計画公園区域を一致させるため、都市計画変更を行う。
- 複合施設の用途は、第一種中高層住居専用地域（用途地域）、第一種文教地区（特別用途地区）による規制を受ける。
- 複合施設の建ぺい率は、都市公園法により規制される。または、立体都市公園制度の適用した場合、建築基準法による規制となる。
- 立体都市公園制度を適用する場合には、立体的な範囲を都市公園と都市計画公園で一致させるため、立体都市計画への変更を行う。

都市公園法

- ▶ 整備予定地の竹早公園は都市公園
- ▶ 図書館の敷地を都市公園の敷地に取り込む場合は、都市公園への建築となり、都市公園法上の設置基準を遵守する必要がある。
 - 公園敷地内に設ける建築物の建ぺい率 2%以下
 - 休養施設、運動施設、教養施設、災害応急対策に必要な施設の建ぺい率 +10%
 - 運動施設は敷地面積に対して50%以下
- ▶ 高低差の活用と限られた敷地内での整備方法として、立体都市公園制度がある。

都市計画法

- ▶ 都市公園法に基づく都市公園敷地と、都市計画法に基づく都市計画公園区域を一致させるために、都市計画変更（区域・面積の変更）を行う。
- ▶ 都市公園法に基づく立体都市公園制度を適用する場合には、都市公園及び都市計画公園の立体的な範囲を一致させるために都市計画変更（区域・面積の変更に加え、立体的な範囲を定める）を行う。

建築基準法

- ▶ 当該地の用途は第一種中高層住居専用地域
- ▶ 建築可能な用途が制限される。

東京都文教地区建築条例

- ▶ 当該地は、特別用途地区である第一種文教地区
- ▶ 建築できない用途制限あり
 - 建築物ではない既存の屋外テニスコート、屋外キャッチボール場は、制限の対象ではない。
 - 第一種中高層住居専用地域による制限では500m²以内でかつ2階以下の部分には飲食店は建築可能だが、第一種文教地区による制限がある。

区民参画

計画策定の参考とするため、一体的整備コンセプト等を共有しつつ、各施設に求められる機能等について、アンケートやワークショップなどにより、施設利用者や周辺住民の意見等を聴取しました。

○計画策定に当たり実施したアンケート、ワークショップ等

	実施期間	回答数・参加者数
①公園利用者アンケート	令和5年3月8日(水) ～21日(火)	243件
②テニスコート利用者アンケート	令和5年3月22日(水) ～4月16日(日)	264件
③第1回区民ワークショップ 「新しくなる小石川図書館を考えよう」	令和5年3月19日(日) 13時30分～16時	17人
④意見募集 「新しくなる小石川図書館を考えよう」	令和5年3月20日(月) ～4月2日(日)	64件
⑤こどもアンケート	令和5年5月26日(金) ～6月8日(木)	保育園 90件
		小学生 441件
		中学生 160件
⑥町会との意見交換会	令和5年6月8日(木) 15時30分～16時30分	7人
⑦第2回区民ワークショップ 「新しくなる施設のあり方を考えよう」	令和5年7月1日(土) 13時30分～15時30分	38人
⑧意見募集 「新しくなる施設のあり方を考えよう」	令和5年7月1日(土) ～7月10日(月)	28件



○参考とした施設利用者を対象としたアンケート

アンケート名	対象意見	回答数
①文京区スポーツ施設利用者アンケート	平成29年度から令和4年度までに実施した利用者アンケート	平成29年度348件、令和元年度470件、令和2年度504件、令和3年度259件、令和4年度498件
②文京区立図書館利用者アンケート	令和4年度に実施した利用者アンケート	3,345件(うち小石川図書館利用者428件)

○各施設の接点に関する主な意見

アンケート名	実施期間	
ワークショップ	3つの施設	どの世代でも利用できる／くつろげる場所／きれいなトイレ／休める、座れるカフェ／飲み物を飲みながら本を読みたい
	公園 × テニス	多様なスポーツができる／ボールを使える場所／テニスコート・公園利用者が休めるカフェ／テニスを眺めながら休める場所／色んな人がいるところが見える
	公園 × 図書館	屋上を使う／公園の様子が施設から見える。勉強しながら公園の景観が見える／遊んだ後ゆっくり休める。ぼーっとできる
	テニス × 図書館	オープンスペースの設置／更衣室、シャワー室、トイレは図書館の建物に併設／テニス後に図書館から情報を得る
意見募集	一体的な施設のキーワード	動く／学ぶ／くつろぐ／出会う／つながる／にぎわい／癒し／みんなで使える／自由／交流／みんなで育てる／緑の中
	接点部分になるところ	休憩スペース／飲食スペース、カフェ／開放感のあるロビー／集約したトイレ等共用スペース
	接点部分での過ごし方・機能	公園の自然やテニスコートの様子を眺めながら読書／公園でのイベントと連携した図書館内の関連スペースの設置／雨や猛暑時に休憩、図書館利用／飲食

○現状や区民意見を踏まえた各施設のキーワード

施設	キーワード	
公園	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な遊具 小さい子どもを安心して遊ばせられる 安全・安心 運動ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 広場 緑豊か 休憩、休息や散策などのんびりできる くつろげる
テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> 使いやすいクラブハウスがある 快適にテニスができる 	<ul style="list-style-type: none"> テニスコート周辺もきれいに
図書館	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人が使いやすい 活動や交流を支える 子どもが心地よく過ごせる 公園とつながる 読書や学習空間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を楽しめる 利用者がくつろげる スペースごとに特性を分ける ICTの活用による利便性の高さ 豊富な資料

課題・施設整備方針

課題

敷地の現況や区民参画を踏まえ、既存施設の課題をまとめました。

公園・テニスコート	(1) 土地の高低差を生かした敷地の利用計画 (2) ユニバーサルデザインへの対応 (3) 利用しやすい、利用したくなる公園に向けた再整備
図書館	(1) 施設の老朽化とユニバーサルデザインへの対応 (2) 蔵書能力の強化、利用しやすい書架配置への対応 (3) 児童や若年層等へのサービスの充実 (4) 視聴覚資料の活用 (5) 閲覧環境の充実 (6) 多様な行事等に対応できる設備の充実 (7) 図書館の使い方の変化への対応 (8) 運営の効率化
一体的整備	(1) 各施設の特徴を生かした相乗効果 (2) 管理運営体制の検討

施設整備方針

各施設の課題や区民参画で寄せられた意見等を踏まえ、一体的整備のコンセプトに基づいた整備方針です。

1 都市計画公園としての機能向上

- ・ 図書館の敷地を組み込み竹早公園を一体的に整備
 - ☞ 公園の面積を拡大、地域のコミュニティスペースとしての機能拡充や防災性の向上等、都市計画公園としての機能を向上
- ・ 敷地の高低差を活用した立体的な整備を行い、限られたスペースを有効に活用した土地利用計画
- ・ 各施設間のアクセスの向上等、公園全体の利便性向上
- ・ 施設の屋上部分を公園とし、緑化や幼児用遊具などを配置し、憩い、賑わいを創出

2 施設の複合化による相互連携、各施設の利用者が交わる空間の創出

- ・ 点在する建物の集約化・複合化による効率的な施設整備
- ・ 機能更新に加え、共有部分を介した各施設の機能連携を図り、それぞれの施設の特徴を生かした相乗効果を生み出し、多様な人が集まり、憩い、学び、にぎわい、交流できる空間を創出

【空間テーマ】「あそぶ、まなぶ、つなぐ、ひろがる。」

- あそぶ…身体を動かし、好奇心をくすぐり、遊びを通じた体験ができる場
- まなぶ…自然やスポーツ、本や音楽などを通じて体験、体感、多様な学びのできる場
- つなぐ…区民と情報、区民と区民をつなぎ、地域の未来へつなげる場
- ひろがる…区民一人ひとりの知識が広がり、世界が広がり、交流の輪が広がる場

3 バリアフリー、ユニバーサルデザインへの対応

4 環境に配慮した施設づくり

導入する機能・サービス

1 複合施設の共有空間における機能・サービス

各施設が機能的にも空間的にも融合・連携する共有の空間をつくることで、施設の利用者がお互いに利用し、交流するほか、地域の憩いや、学び、賑わいのある場の創出を目指す。

項目	機能・サービス	必要な諸室・スペース等
憩い・交流・賑わい	・各施設とつながる休憩（飲食可）や会話のできる賑わいある空間 ・各施設利用者がお互いに利用できる空間	ロビー／フリースペース
学び・遊び	・各施設の利用者が利用できる空間 ・学び、遊びにつながる催しの開催	多目的ホール
全ての人が安心して利用できる環境整備	・バリアフリー対応等の環境整備	エレベーター／駐輪場／障害者用駐車場／授乳室・おむつ交換室等

2 公園・テニスコートにおける機能

- ▶竹早公園は、図書館との一体的整備により、地域活動や活発なコミュニティづくりの拠点となる設備や空間を確保する。多様なニーズを捉え、緑の確保や遊具、様々な活動がひろがる広場等の設置など、誰もが利用したいと感じる魅力的で快適な環境を整備する。
- ▶施設をバランスよく配置することで、災害時の一時避難場所や避難経路としての十分なスペースを確保するなど、地域の防災性の向上にも貢献する。
- ▶利用率の高いテニスコートについては、現行の5面を維持しつつ、効率的な運用を図るため、エリアが分断している現状を解消し、一体的に配置する。
- ▶老朽化した設備を更新するとともに、図書館施設とクラブハウス等の機能を合築し、効率的な施設整備と利用者の利便性向上を図る。

項目	機能	必要なエリア
遊具	・小さい子どもを安心して遊ばせられる ・乳幼児や児童向けの遊具を設置	安全で種類豊かな遊具エリア
緑・散策	・公園全体を散策エリアとし、他エリアをつなぐ ・緑を楽しみながら散策できる	四季を感じる木々、草花のある散策エリア
休憩	・公園利用者の休憩スペースとしての利用のほか、図書館で借りた本を読むスペースとしても利用	屋外読書もできる休憩エリア
広場	・多様な活動に対応	様々な活動に使える明るく広々とした広場
テニスコート	・5面を集約して整備し、使いやすくする ・適切な規模で使いやすいクラブハウスとする ・利用受付窓口とテニスコートの動線が分かりやすい	5面一体の使いやすいテニスコート／クラブハウス／受付窓口

3 図書館における機能・サービス

- ▶地域の身近な「学びの拠点」として、資料の収集・保存・貸出といった基礎的なサービスに加え、新しい本と出会う機会の提供やライフステージに応じた催し、多様な学習活動等に対応できる図書館を目指す。
- ▶公園とつながることで、賑わいやざわめきと共存し、だれでも利用しやすく居心地のよい空間づくりや、小石川図書館の特性である音楽を生かした空間づくりを行う。

項目	機能・サービス	必要な諸室・スペース等
基礎的な機能を維持したサービス	・資料の収集・保存・貸出 ・来館が困難な方への資料宅配サービスの実施 ・対面朗読サービスの実施 ・レファレンスサービスの提供	開架・閉架スペース／カウンター／対面朗読室／管理スペース
充実した資料の提供と利用しやすい配架（本との出会い）	・豊富な資料を生かした書架配置、配架 ・郷土資料、音楽資料の収集・保管・提供 ・閉架書庫の一括集約・拡充 ・新たな本との出会いを創出する配架、展示	開架スペース／閉架書庫／展示スペース
子どもが過ごしやすい空間	・子ども向けの資料と書架配置、くつろいで本が読めるスペース ・子どもの声を許容し、親子で話しながら過ごせる空間の創出 ・成長段階に応じたおはなし会や催し ・主に10代の若年層に向けた読書活動の支援	児童開架・閲覧スペース／ねころび台（読み聞かせスペース）／YA開架・閲覧スペース
読書や学習空間の整備（目的に応じた利用）	・閲覧や学習など利用者の目的に応じた席の設置（ざわめきのあるスペースと、静かなスペースを分けたゾーニング） ・くつろぎながら読書できる空間の提供 ・会話を許容する空間の提供	閲覧スペース／閲覧・学習室／グループ学習室
公園とのつながり	・公園と図書館内のエリアのつながりの創出	開架・閲覧スペース／展示コーナー
全ての人が安心して利用できる環境整備	・障害者資料等の充実等 ・バリアフリー対応等の環境整備 ・子連れでも安心して利用できる環境整備	開架・閲覧スペース／対面朗読室／おむつ交換スペース／ベビーカー置き場
音楽を楽しむ	・レコードの保存・貸出、魅力の発信 ・音楽を楽しむ空間や催しの提供	視聴覚資料開架・視聴スペース／閉架書庫／多目的ホール
ICTの活用による利便性の向上	・ICタグシステムの導入による貸出・返却・予約受取のセルフ化 ・館内でのWi-Fi環境の整備 ・データベース、インターネット機器の設置	セルフ機器／インターネット席

○蔵書計画

資料種別	項目	現在（令和5年3月末日時点）	目標
図書	蔵書数	181,721冊	182,000冊
	開架率	77.4%（雑誌以外）	50%程度（児童書は90%程度）
	児童書割合	22.9%・41,656冊	23%・42,000冊
視聴覚資料	資料数	42,720点	42,000点
全体	全体資料数	224,441点	224,000点

※蔵書数には雑誌含む

施設整備目標

エリア名	諸室・スペース名	主な機能	仕様等
共有	ロビー（フリースペース）	<ul style="list-style-type: none"> 各施設への通路 多目的な利用 公園を眺めることのできる休憩スペース（飲食可） 	<ul style="list-style-type: none"> 公園、テニスコート、図書館の共有空間とし、機能連携を図りやすい計画 多目的ホールとの一体的な利用など多様な使い方に対応
	多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> 催しなど多目的な利用 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的な利用、催しを公開しやすい計画 公園側への接続を可能とする
	授乳室・おむつ交換室	<ul style="list-style-type: none"> 授乳、おむつ交換ができる室 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児とその保護者を対象とした設備
	駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> 自転車での利用者用 	<ul style="list-style-type: none"> 100台程度
	エレベーター、廊下、通路	<ul style="list-style-type: none"> 複層階の移動手段 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者用、管理者用の設置
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 男子トイレ、女子トイレ バリアフリートイレ 	<ul style="list-style-type: none"> 24時間利用対応 公園、テニスコート利用者がアクセスしやすい
	公園（屋外）	遊具	<ul style="list-style-type: none"> 小さい子どもを安心して遊ばせられる
散策		<ul style="list-style-type: none"> エリア同士を散策路を通じてつなぐ 緑を楽しみながら散策ができる 	
休憩		<ul style="list-style-type: none"> 屋外読書もできる 	<ul style="list-style-type: none"> ベンチ等の設置
広場		<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動に使える 	<ul style="list-style-type: none"> 一体的にできる限り広くとる
テニスコート		<ul style="list-style-type: none"> テニス利用 	<ul style="list-style-type: none"> 5面を集約
テニスコート（屋内）	更衣室	<ul style="list-style-type: none"> 更衣のできる室。シャワー、ロッカー含む 	<ul style="list-style-type: none"> テニスコート利用者専用 男女別に設置
	受付窓口	<ul style="list-style-type: none"> テニスコート利用時の受付窓口 	<ul style="list-style-type: none"> テニスコートと図書館の受付の集約等、管理の効率化を検討

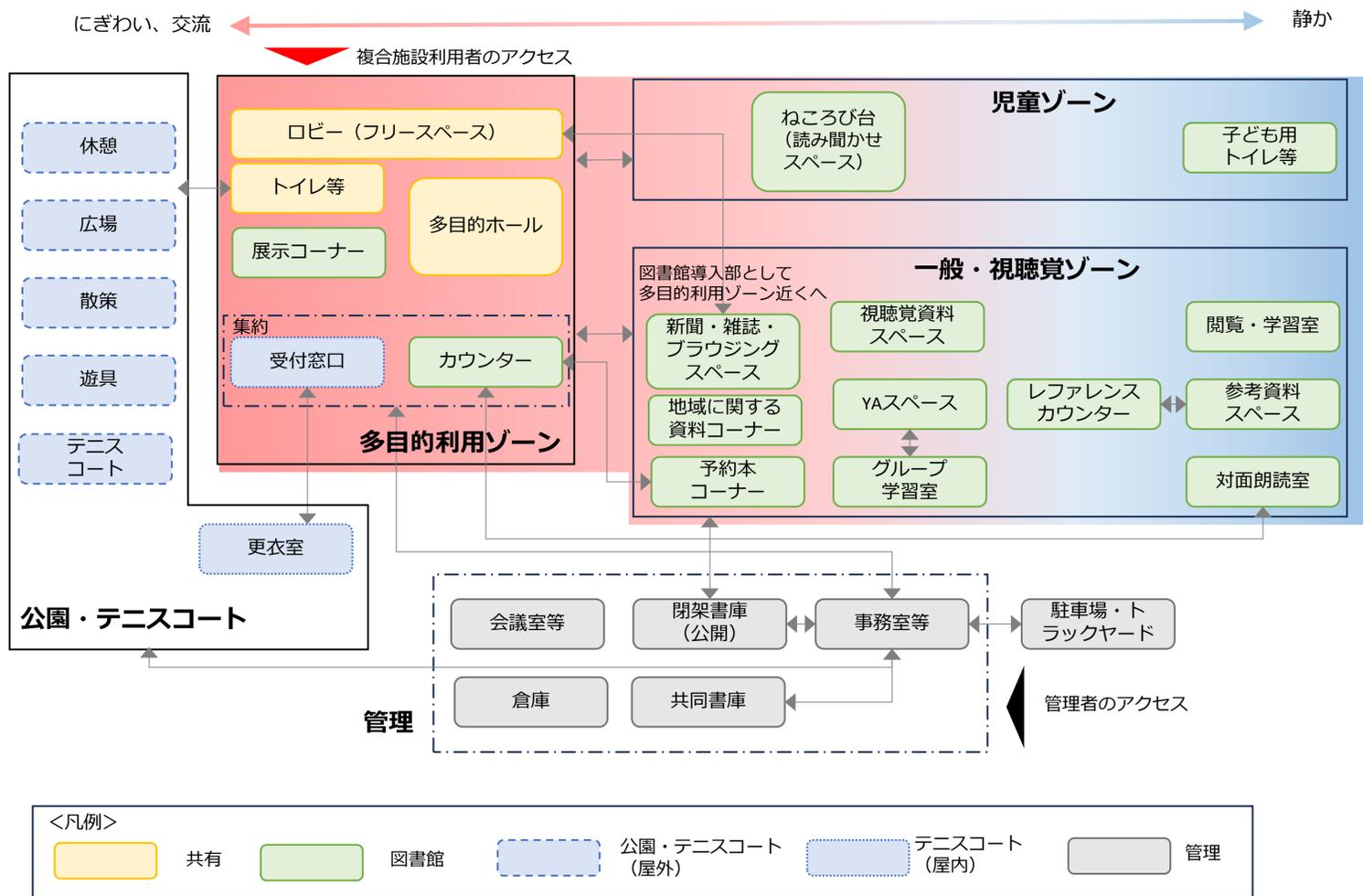
エリア名	諸室・スペース名	主な機能	仕様等
図書館	カウンター等 予約資料コーナー	<ul style="list-style-type: none"> 利用登録や貸出と返却等のサービス、調べ物や読書相談などに対応するレファレンスカウンター、資料検索(OPAC)、インターネットやデータベースPC席 予約資料の受取サービス 	<ul style="list-style-type: none"> 館内全体で見やすい位置に配置 貸出返却用のセルフ機器を設置 インターネット端末設置 セルフ予約棚を設置
	開架・閲覧スペース（図書）	<ul style="list-style-type: none"> 一般図書、YA、地域資料、参考資料の配架 展示コーナー 閲覧スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 書架は配架の効率性と見通しを配慮した段数 書架間の通路幅は車いすの移動ができる幅を確保 いす席、机席（デスクライト、コンセント）など様々なニーズに対応
	開架・閲覧スペース（視聴覚資料）	<ul style="list-style-type: none"> CD、レコード資料の配架 試聴スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 書架は配架の効率性と見通しを配慮した段数 書架間の通路幅は車いすの移動ができる幅を確保 レコードは展示、試聴できるスペースを確保
	新聞・雑誌・ブラウジングスペース	<ul style="list-style-type: none"> 新聞・雑誌の配架、閲覧スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者が気軽に利用できる位置に配置
	閲覧・学習室	<ul style="list-style-type: none"> 静かに集中して読書や学習を行うスペース 	<ul style="list-style-type: none"> 壁で仕切る室としての整備を検討
	グループ学習室	<ul style="list-style-type: none"> 複数人での学習用スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 会話が可能な空間への設置または壁で仕切る室としての整備を検討
	開架・閲覧スペース（児童図書）	<ul style="list-style-type: none"> 児童書の配架 ねころび台（読み聞かせスペース） ベビーカー置き場 閲覧スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 書架は配架の効率性と見通しを配慮した段数 書架間の通路幅は車いすの移動ができる幅を確保 読み聞かせやおはなし会に対応 いす席、机席など様々なニーズに対応
	トイレ（一般・児童）、おむつ交換スペース	<ul style="list-style-type: none"> トイレは子ども用含む おむつ交換ができるスペース 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども用トイレ・おむつ交換スペースは児童図書のエリアに設置し、乳幼児とその保護者を対象とした設備とする
	対面朗読室	<ul style="list-style-type: none"> 対面朗読サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 仕切られた部屋 一定程度の防音
	管理	事務室、会議室等	<ul style="list-style-type: none"> 図書館、テニスコート、公園の職員の事務、作業スペース 各施設備品の保管 ボランティア等の活動スペース
閉架書庫、共同書庫		<ul style="list-style-type: none"> 閉架資料の保管 区立図書館全体のストック機能（共同書庫） 	<ul style="list-style-type: none"> 集密書架 利用者が利用できる公開書架としての整備を検討（共同書庫は除く）
倉庫		<ul style="list-style-type: none"> 防災用倉庫 	—
駐車場・トラックヤード		<ul style="list-style-type: none"> 障害者用駐車場 交換使用駐車場 	—
機械室・電気室		—	—

機能相関図

公園と複合施設の出入口付近は、ロビーや多目的ホール等、にぎわいや交流を生む動的な多目的利用ゾーンとし、公園・テニスコート・図書館とのつながりをもつ。

図書館の資料の展示コーナーや新聞・雑誌・ブラウジングスペース、地域に関する資料を多目的利用ゾーンまたは多目的利用ゾーン近くに配置し、情報の発信や来訪者がだれでも気軽に利用できる施設への導入部の役割を果たす。

多目的利用ゾーンから図書館（一般・視聴覚ゾーン、児童ゾーン）に進むにつれて静的な空間へと移っていくゾーニングとする。特に学習・研究目的の利用者が使用する閲覧・学習室、参考資料スペース、静かな環境を保つ必要がある対面朗読室は静的な空間へ配置する。



複合施設の施設規模目標

利用者		諸室名	面積	
多目的利用ゾーン	ロビー	600m ²		
	多目的ホール (100席程度)			
	展示コーナー			
	更衣室			
	トイレ・廊下・階段等 (授乳室、おむつ交換室等)			
管理		諸室名	収容点数	面積
		事務室等 (事務室、ボランティア室兼作業室等)	—	1,500m ²
		会議室等	—	
		閉架書庫 (うち図書9.2万冊、視聴覚資料2.1万点)	113,000点	
		共同書庫	50,000冊	
		倉庫	—	
		駐車場・トラックヤード (障害者用、交換使用)	—	
		トイレ・廊下・階段等 (一般・視聴覚ゾーンのトイレ等含む)	—	
		管理計	163,000点	

利用者	収容点数	面積	内訳
	274,000点	3,400m ²	図書18.2万冊 (一般書14万冊、児童書4.2万冊) 視聴覚資料4.2万点、共同倉庫5万点

利用者		諸室名	収容点数	面積
一般・視聴覚資料ゾーン	カウンター等、予約資料コーナー (5,000冊程度)		—	900m ²
	一般開架・閲覧スペース	YAスペース	50,000冊	
		地域・参考資料スペース	68席程度	
		視聴覚資料開架・閲覧スペース	21,000点	
	新聞・雑誌・ブラウジングスペース		12人程度	
	閲覧・学習室		65席程度	
	グループ学習室		20席程度	
	対面朗読室		—	
	一般・視聴覚資料ゾーン計		71,000点	
	児童ゾーン	カウンター等		
児童開架スペース		40,000冊		
ねころび台 (読み聞かせスペース)		15人程度		
トイレ・廊下・階段等 (ベビーカー置き場等)		—		
児童ゾーン計		40,000冊		

土地利用計画

○土地利用計画案

①立体都市公園制度を適用しない場合

- ▶都市公園法上の建ぺい率上限12%。建築面積の上限983.19㎡。
- ▶既存同等の建物を除く公園面積を確保するために、複合施設の建築面積を約950㎡とした場合。

項目	上限	①案の場合
建ぺい率	都市公園法の規定により2%+特例10%で12%	11.6%
容積率	300%	47.0%
建築面積	983.19㎡	約950㎡(公園地上部 約950㎡)
延床面積	24,579.78㎡	約3,850㎡ (うち駐輪場・車寄せ 400㎡)

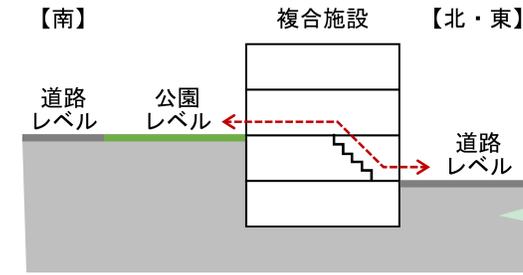


複合施設は、ロビーやトイレ、テニスコートの受付窓口・管理事務所・更衣室等は公園、テニスコートと連携しやすい位置に配置する。高低差を活用し、公園やテニスコートに影を落とさないよう東側に配置するとともに、建物の日影による近隣への影響を考慮する。

三施設の利用者が交わる空間を創出するため、日当たりの良い公園の南側は広場とし、テニスコート、複合施設との連携をしやすい形とする。広場では目的に応じた様々な活動を可能とし、イベントのできる空間を整備し、利用者が居心地よく滞在できるようにする。

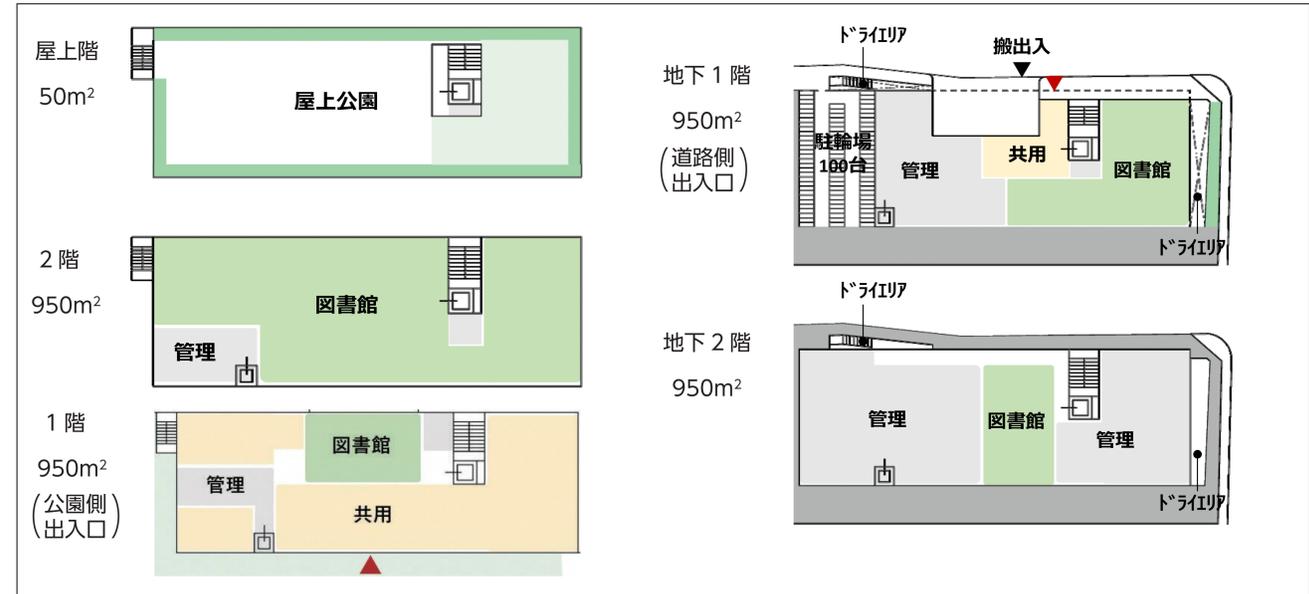
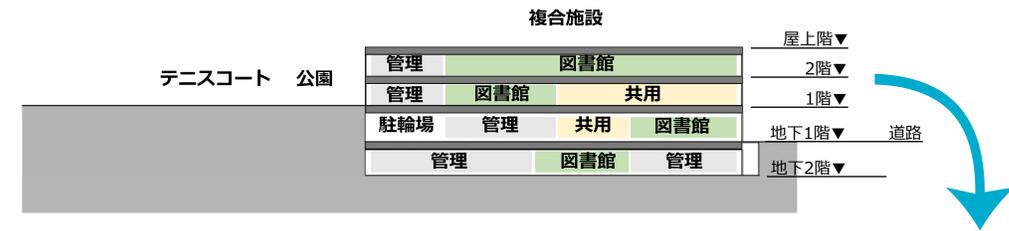
テニスコートは、利用時の音や夜間照明の光等、近隣への影響を配慮し、現状と同じ西側に5面を集約して整備する。

○動線の考え方



高低差を活用して、道路レベル(北・東側)と公園レベル(南側)をつなぐ位置に建物を配置し、双方向からのアクセス性を高める。

○施設整備配置案

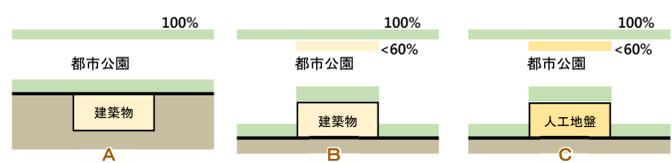


ここで示した「土地利用計画案」と「施設整備配置案」は一つの例となります。お寄せいただきましたご意見を基に、今後、別の案も含めて検討を進めます



立体都市公園制度

高低差の活用と限られた敷地内での整備方法として、立体都市公園制度があります。立体都市公園制度は平成16（2004）年の都市公園法の改正により創設された制度で、都市公園の区域を立体的に定め、都市公園と地下施設を一体的に整備することで、土地の有効活用を図り、都市公園の効率的な整備を果たすことを目的とした制度です。

規制項目	条文	概要
主旨	都市公園法 運用指針 (第5版)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地中心部等では、ヒートアイランド現象の緩和、地震災害時の避難場所の確保、人々の憩いの場の確保等の観点から、特に都市公園の整備を必要としている一方、他の目的による土地利用を図る必要もあることから、土地の有効活用を図りつつ、他の施設と都市公園とを一体的に整備することによって効率的に都市公園の整備を進めるため、都市公園と他の施設による立体的土地利用を図っていくことが望ましい場合もある。 立体都市公園制度は都市公園の下部空間に法の制限が及ばないことを可能とし、当該空間の利用の柔軟化を図ることとしたものである。
アクセスの確保 運用に当たっての 基本的な考え方、 設置基準	都市公園法 運用指針 (第5版)	<ul style="list-style-type: none"> 立体都市公園の形態としては、大きく分けて、以下3パターンが考えられる。 A 都市公園の地下利用を可能とするケース B 建物の屋上に都市公園を設置するケース C 人工地盤上に都市公園を設置するケース  <ul style="list-style-type: none"> 既存の都市公園に立体都市公園制度を適用するのは、原則として既存都市公園の地下を利用しようとする場合になるものと考えられる。
立体都市公園制度の設置基準	法第21条 施行令第4条	<ul style="list-style-type: none"> 当該立体都市公園を徒歩により容易に利用することができるように傾斜路、階段、昇降機その他の経路によって道路、駅その他の公衆の利用に供する施設と連絡していること。 標識の設置又はこれに準ずる適当な方法により、当該立体都市公園の設置場所及びそこに至る経路を明示すること。

②立体都市公園制度を適用した場合

項目	上限	②案の場合
建ぺい率	60%（ただし、角地、準防火地域内に準耐火建築物を建築することによる緩和により80%まで可能）	※地下部分拡大による経済性・工期・地上部に必要な広場面積などを考慮した検討が必要。また、建物高さは近隣への日影の影響を考慮する必要がある。
容積率	300%	
建築面積	4,916.0 m ² (6,554.6 m ²)	
延床面積	24,579.78 m ²	